

杉山茂丸 しげやま 隨筆家。元治元年八月十五日筑前國生れ、昭和十年七月十九日歿（八六四—一九三五）。諱誠一、幼名平四郎、秀雄。變名林矩一。號其白庵。と洋社の客員として、頭山滿の懐刀とも、中央政界の黒幕とも稱いはれた。九州鐵道の敷設、臺灣銀行の設立、白韓合邦運動、滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）創設、博多港築港等々關與。小説家夢野久作はその長男。

著譯書の、其白庵叢書・第一編（其白庵主人名、明治四十四年四月）
二十二年博文館（『英國官白の蘇譯』（杉山其白庵主人譯、明治四十四年九月）二十二年國光印刷株式會社出版部）、ゼー・エリス・バーカー著『英國經濟論上の大問題』（杉山其白庵官譯、再版・大正八年五月）二十五年博文館（『桂大將傳』（大正八年十月五日博文館）、山縣元帥』（杉山其白庵名、大正十四年一月五日博文館）、『この食の勤皇』（杉山其白庵主人名、昭和七年五月）二十五年月刊）、『臥榻閑話』（杉山其白庵名、昭和九年四月十日中華社）、『義大夫論』（杉山其白庵名、昭和九年七月）二十八年月刊、中華社）、『兎玉大將伝』（平成元年八月十日中央公論社「中公文庫」）等。

